

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			子どもたちが活動しやすいようなテーブル配置を考えている。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			所属している職員で子どもたちとの関わりをきちんとできるように話し合っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>		駐車場に関しての毎回お問い合わせが多い。配慮できるように注意していく。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			支援計画を作成する際によく吟味している。支援会議で話し合ったりもしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			昨年度からアンケートを始めた。改善できそうなところを話し合い、実現に向けて頑張っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			昨年度の自己評価をHPに公開した。今年度もその予定である。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		将来的にやる予定でいる。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			全大会での研修やそれぞれ一人一年に一回は研修に行くことになっている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			面談でのニーズ聞き取りや普段の会話の中から分析して計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		紙ベースのものでやっている子もいるが、全員ではない。来年度あたりから学年をしばって長期休暇などにアセスメントを行う検討したい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			職員会議を通して行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			スモールステップで評価をしながら行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			土曜日は音楽やダンスなど違う活動をし、長期休暇には行事を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			ニーズと子どもの状況を照らし合わせて、個別で行う活動と集団で行う活動をおりませている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			お昼にその日の活動のミーティングを行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			子どもたちが帰った後に帰りの会を行ってその日の出来事を振り返っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			毎回の活動について、一人ずつ記録を書いている。時折それを見て活動の検討を行っている。

	⑮	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		前期と後期で活動を見直し、支援計画を作成し直している。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		難しい部分もあるが、できる限りの努力をしている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑰	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		その子どもに関わっている人、全体を把握している人が出席している。
	⑱	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		送迎時や学校公開、支援会議がある学校はそれに参加するなどして、情報共有を行っている。
	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		医療的ケアの必要な子どもは今のところ通ってきていないが、契約書に主治医を書いてもらっているので、いざという時に対応できる体制になっている。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		通ってきているのが高校生が多く、学年が小さい子が少ないため、あまりこのような対応ができていない。情報は、契約の際に保護者を介して共有している。
	㉒	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		外部に対してはあまり経験がない。そのような要望があった際にうまく対応できるようにしておく。同じ法人内での障害福祉サービス事業所への移行があった場合は、情報を提供している。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		一部の子どもについて、電話でやり取りなどをして連携をとっている。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		事業所の性質上、このような機会を設けることが難しいが、何かできることがないか検討していく。
	㉕	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		あまりできていない。検討していく。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		活動が終わった後に必ず保護者と会話をしている。こちらは活動について、保護者は学校や家庭での様子など、子どもの状況をきちんと伝え合っている。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		活動後の会話の中で行っている。
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約をする際に細かく説明をしている。また、途中でお問い合わせがあった際はその都度説明をしている。
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		活動後の会話の中で、何かお困りのことがあった場合アドバイスをしている。また、電話でお問い合わせがあった場合にも対応している。
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		父母会や保護者会などはまだ行なっていないが、昨年度から茶話会を始めた。今年度は2回行った。

	③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		今のところ苦情はないが苦情窓口を設けており、いざという時にはすぐに対応できる体制を整えている。
	④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		法人の会報「風のたより」やホームページなどを利用して普段の活動や行事の様子などを発信している。また、来年度学期ごとに放課後デイのお便りを出すことを検討している。
	⑤	個人情報に十分注意しているか	○		個人にお渡しするお手紙を入れるポストを、名前が見えないように工夫している。
	⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		必要があった際にはその都度適した配慮を行っている。
	⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		法人では地域住民を招待する行事を行っているが、放課後デイのみでは行っていない。今後検討していく。
非常時等の対応	⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		昨年度から玄関前にマニュアルを掲示することにした。また、保護者にはマニュアルの存在をお伝えした。少しずつ周知ができていく。
	⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		今年度から早い時間や遅い時間に来る子どもに対しても行うようにし、全員が体験できるようにした。
	⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止の研修を職員全体で受けている。また「小さな出来事委員会」を作り、小さなことも見逃さないようにしている。
	⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在身体拘束をしなければならない子どもは通って来ていないが、それが必要な子どもが入ってきた場合は、計画書にその旨を記載するようにする。
	⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者に口頭で確認はしているが、医師の指示書に基づいてはいない。
	⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		帰りの会や職員会議でヒヤリハットを共有している。その後担当した人がヒヤリハットを記録する紙に記載し、ファイルにして綴じている。